



Weekly Report



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブ・スローガン ～ 慌てることなく発展していこう ～
誰かのため、謙虚に活力のある奉仕活動を

会長 田中芳明
幹事 小田光司

例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日（月3回）
事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

田中年度 第7回

通算第2752例会

令和3年10月21日

会長挨拶 第59代会長 田中芳明

皆様こんばんは！
蓮田 RC 秋葉会員様、本日は夜間例会ご出席有難うございます。U12 少年サッカー大会ですが、去年より岩槻 RC が3ヶ年計画におきまして事業の見直しというを行う関係で共に主催になれなく申し訳ありません。できる限りのお手伝いはさせていただきます。



さて、本日で少し「組織」についてお話をしたいと思います。色々あります。法人である会社・学校・NPO など、私が今まで所属した青年会議所・商工会議所青年部、そして現在所属しているロータリークラブなどです。どの組織でも一番重要なことは報告・連絡・相談だと考えています。よく使う言葉で言うと、「ほうれんそう」です。人間が作る組織を運営するにあたり一番大切なことであると同時に一番難しいことだと考えています。人間はそれぞれベースになる考え方が違うので同じ言葉でもニュアンスによってズレが生じてきてしまいます。このズレを少なくするためにはどうすれば良いか考えると、コロナ禍の現在、人間同士ではよくありませんが、「蜜」に「報告・連絡・相談」することだと考えています。相手には少ししつこいと思われるぐらいがいいかなと思います。岩槻 RC の組織図は大まかにお話すると会長、幹事、意思決定機関として理事会そして各部門を統率する部門委員長、色々と実行して頂く委員長を中心とした委員会がごございます。スムーズに岩槻 RC を運営していくには委員長を中心とした「炉辺」が必要だと考えます。会長としての我儘を言わせていただければ、緊急事態宣言が明けた今、委員長の皆様、大変だと思いますが「炉辺」を行っていただければと思います。委員会のメンバーの皆様の中にはとても経験豊富な方や革新的なお考えを持った方など色々な考えをお持ちの方がいらっしゃいます。私自身、委員長を仰せつかった時には「炉辺」により、メンバーの皆様の御意見により沢山救われて委員会を運営することができました。岩槻 RC という組織を「蜜」にするためにお力をお貸しいただければと思います。

本日は三浦研修リーダーによる卓話となっています。クラブ研修リーダーは非常に重要な役割です。豊富な経験を生かし会長をはじめとするクラブのリーダーと協力しながら研修を行い、人材を育てる役割です。どうぞよろしくお願いたします。



幹事報告 幹事 小田光司

1. トレインジャックPJ「ポリオ根絶ウォークラリー」集合時間・場所のご案内が届いております。
2021年10月24日（日）
集合13:00～ イベント開始13:30～
集合場所 丸の内線 東京駅丸の内口
2. 地区大会開催方法のご案内が届いております。
3. 2021～2022年度オンラインRLIパート2開催のご案内が届いております。
2021年11月27日（土）
9:00 受付開始 9:30 開会式 17:15 閉会式
セッション開始 10:00～（50分×6セッション 12:00～12:50 昼食休憩）
登録料 一人 3,000円
4. ハイライトよねやまVol259が届いております。
5. 令和3年度さいたま市防犯・暴力排除・交通安全市民大会の中止のお知らせが届いております。
6. 岩槻東ロータリークラブから週報が届いております。



お客様紹介



蓮田ロータリークラブ 秋葉 功四郎 様

本年度も11月3日（祝・水）に少年サッカー大会を開催致します。焼きそばもありますので、ぜひ皆様のご参加をお願いいたします。

卓話「四つのテスト」

研修リーダー 三浦宣之

今日は四つのテストをテーマにお話したいと思います。この前のガバナー公式訪問例会の時に四つのテストのことについて掘り下げると面白い勉強になるよという事をおっしゃってられました。自分自身も毎回読んでいる四つのテスト、ただ読んでいて、日常生活において、言行はこれに照らしているかと問われると照らしてはいない



など気づきました。という事で、自戒の念も含めて毎回唱和している四つのテストの事についてお話させていただきます。

この四つのテストに関しては岩槻RCでは独特なやり方がありまして、パスト会員の小宮さんがセリフにメロディーをつけて毎回歌っていました。覚えていらっしゃるでしょうか？

小田年度の時、毎回唱和している四つのテストとロータリーの目的、せっかく例会の初めに皆で唱和しているので、これくらいは暗記して、空で言えるようにしましょうと言われていました。私も覚えました。四つのテストは短いので覚えやすかったのですが、ロータリーの目的はなかなか覚えづらい印象がありました。

さて、ではなぜ、四つのテストがロータリーの指針となり、基本的概念となっているのかをお話していきたいと思えます。

ハーバート・テイラーさんという方がいました。この方が四つのテストを考案しました。彼は、非常に優れてそして、やり手のセールスマンだったらしいです。1932年、アメリカ・シカゴにクラブ・アルミニウム社という調理器具メーカーがありました。当時破産寸前で多額の負債を抱えていたこの会社の再建をテイラーさんは託されました。彼は、これまでの給料の8割減、そして自己資金6100ドルを同社に投資しました。6000ドルがいくらかを調べたところおおよそ3000万円でした。それほど額を投じて運命を託しました。普通の人だったら決して引き受けないであろう仕事を、あえて困難に挑戦したわけです。彼は、こんな時だからこそ、全員が倫理的なターゲットを掲げて、正しい営業活動をすれば、必ず会社が再建できるという事を証明するために画期的な経営方針をうみだしたのです。これが、四つのテストです。

この4つのテストを生み出し、完成させるまでは、初めは100以上の言葉を思いついたそうです。これではさすがに長すぎる。そこでさらに考えて7つに絞り、そして、最終的に4つにまとめ上げました。そして、クラブ・アルミニウム社が物事を決定したり、行動する時はこの四つのテストに照らし合わせることにしたのです。

この四つのテストを採用して間もなく、早速これを使う機会が訪れました。「世界で最高の調理器具」というキャッチフレーズが書かれた広告がテイラーさんの目に留まりました。「世界で最高の調理器具だと証明することはできないし、それは間違いかもしれません」彼は広告担当者呼んで、最高という文字を削除するように指示しました。その言葉は広告から外され、以後は、最高とか、世界一とか、最も優れたとかいう言葉は使われなくなり、製品に関する事実の説明文が載せられました。これは、四つのテストでいうところの「真実かどうか」に当てはまるかということです。

また、競合他社の欠点や悪口を載せる広告も取り除かれるようになりました。これは、「行為と友情を深めるか」に沿っているかです。そうしているうちに信頼と行為の雰囲気が取引先やお客、従業員の中に育まれ業績が好転するようになってきました。そして、5年後には負債は完済され、株主への配当まで出せるようになったということです。

なぜそうなったかというと、この四つのテスト、この四つのテストは理想に見えるかもしれませんが、しかし、この四つのテストは理想主義を超えて、極めて実用的で現実的なものだったからだと言えそうです。

そして、この四つのテストは1942年ロータリーで採用されるようになりました。因みに、テイラーさんは1954年にRIの会長になっています。テイラーさんは後におっしゃられています。「この四つのテストを職業上の倫理基準だけでなく、

日常生活すべてにおいて適用して欲しい」。元々、会社再建のために作られたこの用語は職場の指針だけでなく、今では一般の行動指針として使われるようになったということです。

ケンタッキーフライドチキンの創業者、カーネルサンダースさん、彼はロータリアンでした。なんとなく雰囲気が鈴木隆会員に似ていると思うのは私だけでしょうか？店の前にある人形の襟にはロータリーバッジが必ずついているそうです。私も今迄知りませんでした。今度立ち寄った時には皆さんも確認してみたいと思います。そしてカーネルさんは四つのテストをビジネスの基本ルールにとり入れたそうです。ケンタッキーの初期の頃のモットーは

そのビジネスに嘘偽りはないか
そのビジネスは関係するすべての人に公平か
そのビジネスは良好な人間関係を作っていくものか
そのビジネスは関係する全ての人にとって有益なものか

そのうち1つでも「ノー」があればその事業には手を出さない。全て「イエス」と答えられればそのビジネスに自信を持って取り組んだそうです。

彼は、「価格ほどの価値はないかもしれないけれど味は保証します。」「どこの州で食べても同じ味を楽しんで頂けます。もし違った場合は返金致します。」という一見店舗にとって不利なネガティブキャンペーンをあえて打ち出したそうです。どうでしょうか、このふな又も価格通りの価値はあるのでしょうか？もし、価格通りでなければ明日から返金します。とは言い切れない。

この四つのテストを同時に達成することは、結構ハードルが高いと私は思います。では、利益を求めすぎではいけないのでしょうか？会社が将来どうなるかわからないので稼げるだけ稼いではいけないのでしょうか？と、考えてしまいます。まだまだ、修行が足りないのでしょうか。四つのテストは理想の範疇にあると思っているのかもしれませんが、理想ではなく、実用しなければならぬと改めて感じました。



スマイルBOXより

ビジター

蓮田ロータリークラブ 秋葉功四郎 様
「本日はよろしくお願ひ致します。」

メンバー(50音順)

小田光司 卓話よろしくお願ひします。
小林佑次 よろしくお願ひします。
鈴木真樹 卓話よろしくお願ひします。
田中芳明 秋葉会員ようこそ。三浦研修リーダー本日は宜しくお願ひします。楽しみにしています。
田畑寛樹 皆様本日も宜しくお願ひ申し上げます。
内藤 明 本日の卓話楽しみにしてます。
中村 正 卓話よろしく！
蛭川正太 本日もよろしくお願ひ致します。
三浦宣之 本日は卓話よろしくお願ひします。

スマイル報告

本日のスマイル合計	29,000 円
年間累計額	244,000 円

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
30	13	1	2	53.33%

リモート出席でのスマイル送金 埼玉りそな銀行岩槻支店 (普)1445466 岩槻ロータリークラブ

発行：会報・広報委員会 委員長 増岡昌行 副委員長 内藤 明 委員 菊地廣 中村 正 田畑寛樹 岡野育広